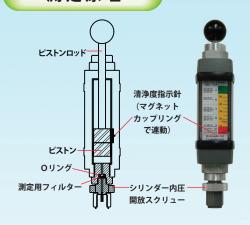
作動油・清浄度簡易モニタリング用

EZ オイルクリーン度チェッカー

測定原理



0.4MPa 前後の圧力によってサンプルオイルはチェッカー本体内に流入し ます。左図の通り、流入経路に測定用 5µmフィルターが設置されており、 5µm以上の粒子系コンタミはこのフィルターによりブロックされ、清浄度 の高いオイルだけがシリンダー内に流入していく仕組みとなっております。

清浄度が高ければ高い程、オイルの流入量が多くなりピストンが持ち上げ られることとなります。このピストンの動きとインジケーター指示針は、 マグネットカップリングで連動しており、オイルの流入量に合わせて連動 表示します。

測定方法



〔オンライン測定〕 0.4MPa 前後の低圧ラインに、5分間設置し測定します。 ※常設測定は不可



〔オフライン測定〕 サンプリングボトルのまま専用耐圧チャンバーに装着 0.4MPa のエア圧を加圧し測定(要コンプレッサー)

測定後は、シリンダー内に流入した油を排出させます。

- ①表示部本体をミニメスポイントより取り外し、
- ②ピストン上部の黒球を手のひらで押し下げ、10~20滴程度排出し、
- ③開放スクリューを1回転程度緩め、ピストンロッドを押し下げて排出。(目安:11級真ん中位の位置で止める) ④最後にもう一度開放スクリューを締め直して、残留液を完全に排出してください。
- - ◆内蔵フィルターの逆洗浄が目的ですので、必ず手順どおりに行ってください◆

ラインナップ



〔低圧オンライン用セット〕



〔オフライン用セット〕

仕 様

- □測定圧力: 0.3 ~ 0.7MPa(最適圧 0.4MPa)※高圧ラインに設置の際は、減圧弁で調圧の上ご使用ください。 __液温:~80℃
- □粘度範囲: 20~150cSt □ 適応油種:作動油・潤滑油・タービン油など □表示幅: NAS 5~11等級 □ 精度: ±1等級
- □シール材質:NBR(標準)/FKM(オプション) □取付:ミニメス □重量:680g □寸法(mm):260x60x60

オイル粘度・簡易測定用 EZ オイル粘度チェッカー

作動油・潤滑油・タービン油の粘度状態を管理することは、オイルの劣化状態を判断する上で最も重要な項目の一つです。オイルに含まれる粒子系コンタミ・酸化生成物・水分によって添加剤や粘度改質ポリマーの破壊が進み本来の粘度が低下することで、摺動面への適切な油膜形成ができなくなったり、油圧機器に必要な適正粘度が維持できなくなる等の影響が出る為、油の粘度管理が求められます!

測定原理



一般的にオイルの粘度は動粘度 (cSt: センチストークス、もしくは mm²/S) の値で表示されます。動粘度は、毛細管を重力によって流れ落ちる秒数によって求められますが、本機も同じ原理に基づいております。

100mL のサンプリングボトルに測定したいオイルを採取し、専用の耐圧 エアチャンバー内にボトルごと装着し、粘度チェッカーをチャンバー上に セットします。チャンバーには 0.35MPa の圧縮エアを送り込み、表示針が 60 に到達するまでの時間をストップウォッチで測定し、その秒数が測定時の油温での動粘度 (cSt) と言うこととなります。(左下写真)

ISO の基準では、動粘度の表示は 40° 時の粘度(ISO $VGxx@40^{\circ}$)で表示されますのでご注意ください。ご使用されているオイルの製造元に問合せ頂ければ、動粘度温度チャートが入手できますので一度ご確認下さい。

測定方法



〔オフライン測定〕 サンプリングボトルのまま専用耐圧チャンバーに装着 0.35MPa のエア圧を加圧し測定(要コンプレッサー)

ラインナップ



[低圧オンライン用セット]

仕 様

- □測定圧力: 0.35MPa□液温: ~80℃□適応油種: 作動油・潤滑油・タービン油など□粘度範囲: 5 ~ 600cSt
- □精度:±15% □シール材質:NBR(標準)/FKM(オプション)□取付:ミニメス 重量:760g □寸法(mm):300x60x60

輸入発売元: 株式会社テクノサポート

〒562-0031

大阪府箕面市小野原東 4—22—3 Tel: 072-730-2303 Fax: 072-730-2304 http://www.technosupport.co.jp

販売窓口: 株式会社チヒロ

₹540-0004

大阪市中央区玉造 2-15-16 1F Tel: 06-4308-4000 Fax: 06-4308-4001

http://www.chi-hiro.co.jp

<お問合せ先>